

- 1 会議名 全員協議会
- 2 日時 令和4年1月20日(木)
午前10時～午前11時23分
- 3 場所 第2・第3委員会室
- 4 出席議員 議員14名
- 5 欠席議員 梅村 均
- 6 出席者 市長 久保田桂朗、副市長 柴田義晴、教育長 野木森広
総務部長 中村定秋、総務部専門監 奥井博昭、健康福祉部長 山北由美子、
建設部長 片岡和浩、消防長 岡本康弘、教育こども未来部長 長谷川忍
秘書企画課長 秋田伸裕、同主幹 小出健二、協働安全課長 小松浩、行政
課長 佐野剛、同行政グループ主幹 兼松英知、同財政グループ主幹 井手
上豊彦、市民窓口課長 富邦也、同主幹 小崎尚美、健康課長 原咲子、同
主幹 城谷睦、同統括主査 小川薫、商工農政課長 竹井鉄次、消防本部総
務課長 加藤正人、学校教育課長 近藤玲子、生涯学習課長 佐野隆、同統
括主査 井上佳奈、子育て支援課長 西井上剛、同保育グループ主幹 佐久
間喜代彦
- 7 事務局出席者 議会事務局長 丹羽至、同主任 高野真理子
- 8 議長あいさつ
- 9 市長あいさつ

10 報告事項

(1) 一部事務組合議会の経過報告

・愛北広域事務組合議会

組合議員 大野議員：資料に基づき説明。

【質疑】

なし

(2) 執行機関からの報告

① 1月臨時会に提出予定の議案について

教育こども未来部長：資料に基づき説明。

総務部長：補足説明。国の補正予算に伴い、昨年末に本市の交付金の追加
交付限度額 161,282 千円が示された。今年度未執行分は国で翌年度への
繰越手続きがされ、令和4年度に交付される。交付金の活用方法は現在
内部で検討中である。今回補正後の留保財源は約 650,000 千円となる。

【確認】

木村議員：今回の補正予算（の事業）については11月臨時会、12月定例会追加議案に続き、3度目である。国の方針変更等あるということだと思っているが、今回は臨時交付金が充当できることが確認できて、補正予算になったということでもいいか。

総務部長：臨時交付金が充当できることを確認したうえでの意思決定である。

木村議員：それはいつ頃か。また、残額が令和4年度に繰り越され、使途は検討中とのことだが、実施計画を作成して国から承認されて初めて、という流れだとは思いますが、今後のスケジュールはどのようなか。

総務部長：令和4年度当初予算には、国の臨時交付金の限度額が示されるより前から新型コロナウイルス感染症対策事業が計上されているので、一般財源を充てる予定だったところに交付金を充てる。ただしそれだけでは交付金を活用しきれないため、残額の使途については内部のプロジェクトチームで検討中。間に合えば3月定例会の最終日に補正予算として上程、間に合わなければ6月定例会で上程、というスケジュール感である。

②第2期岩倉市教育大綱（案）のパブリックコメントの実施について

秘書企画課長：資料に基づき説明。

③教育振興基本計画の中間見直しについて

学校教育課長：資料に基づき説明。

【②、③併せて質疑】

なし

④統合保育園の建設候補地域の選定について

子育て支援課長：資料に基づき説明。

【質疑】

木村議員：それぞれの評価項目について、駅からのアクセスが大きな評価ポイントになるかなあというところで、例えば市内の公立保育園の配置状況を見て保護者は園を選ぶと思うが、どうしてこのような評価項目になったのか教えてほしい。徒歩で送迎している保護者も見受けられるが、ほとんどが車か自転車である。

子育て支援課長：おおまかに想定している評価項目を説明し、追加してほしい評価項目はあるか尋ねたところ、市民説明会において、車での送迎

がほとんどであることは承知しているが、徒歩や自転車の保護者も一定数いるので、公共交通機関からのアクセスを評価項目にしてほしいとの意見があったため、追加したもの。

⑤その他

(ひかりの輪名古屋教室について)

協働安全課長：資料なし、口頭説明。本町地内に「ひかりの輪名古屋教室」と称する施設が存在していることを把握している。公安調査庁より、「大量無差別殺人を行った団体の規制に関する法律」に基づき当該施設に立ち入り検査を行った旨の情報提供があったことにより知ることとなった。地元区も当該施設については把握しており、現時点で近隣住民との間にトラブル等は生じていないが、何かあれば協働安全課に連絡、相談するよう依頼済み。公安調査庁や江南警察署と連携して、また地元区とも連携して、必要に応じて情報共有しながら対応する。オウム真理教関連の施設がある全国の自治体で連絡会を組織しており、情報共有や関係機関への要請活動を行っている。本市も令和4年度から本連絡会に参加するため、新年度予算に負担金5千円を計上予定。

【質疑】

黒川議員：立ち入り検査があったとのことだが、現在掴んでいる情報は。協働安全課長：知り得るのは団体がホームページで公開している情報のほか、調査内容を自治体として請求できるので請求手続きをし、報告されたが、報告の内容をお知らせすることはできない。

(尾張市町交通災害共済組合関係事務の終了について)

市民窓口課長：資料なし、口頭説明。平成30年度末をもって会員の募集を終了し、令和3年3月末の組合解散後、承継団体の北名古屋市に事務や財産が引き継がれた。令和3年9月24日に北名古屋市議会において令和2年度尾張市町交通災害共済組合の決算が認定された。なお、組合の解散に伴う決算剰余金の7市4町の配分総額76,609,863円であり、岩倉市分は8,319,000円、1月25日に本市宛て振り込み予定。これをもって尾張市町交通災害共済組合の事務は完了となる。

【質疑】

なし

(マイナンバーカード交付円滑化計画の改訂について)

市民窓口課長：資料に基づき説明。なお、12月末現在の交付実績は18,943枚、交付率39.4%である。申請時来庁方式の採用に伴い本人限定受取郵便料金は1件あたり624円。申請時来庁方式を導入している市町村によると、マイナポイントの設定支援を希望する方は郵便受取ではなく来庁しての受取を希望することが多いと聞いている。今年度は試行なので予算内での実施とし、年度内は月5件を見込んでおり、令和4年度からは月125件を見込む。当初予算に計上予定。

【質疑】

木村議員：数字の報告をする場合は資料に記載しておいてほしい。交付円滑化計画は2度目の改定だが、改訂される度に、月当たりの交付枚数が増えていく単純な計画だ。今後も同様か。国は計画見直しのスケジュールについてどのように示しているのか。

市民窓口課長：国から急に通知があったもの。今後も国から通知があれば改訂案を示す。

(岩倉市新型コロナワクチン接種について)

健康課長：資料に基づき説明。準備が整えば、スケジュール前倒しで発送する。7月、8月に2回目接種が完了した人についても、急ピッチで準備を進めており、順次発送する。

【質疑】

梶谷議員：3回目の接種では職場接種はどのような状況か。

健康課長：職域接種は3月からスタートすると聞いている。

木村議員：会計年度任用職員や委託等、職員体制の確保、時間外勤務の増加状況、健康状態などはどうか。

健康課長：体調を崩している職員もいるが、当該職員については時間外勤務をしないように調整して、また休みを取りながら体制を整えている。時間外勤務については、12月下旬から複数回に渡って前倒しの要請が国から出ており、都度医療機関と調整しているため、時間外勤務が発生している。コールセンターが毎日9時から19時まで予約できる状態になっているので、職員の負担軽減になっている。

木村議員：健康を考慮しながら対応してほしい。コールセンターとの業務分担について、予約以外のことは保健センターに電話が掛かってきて、きついことを言われたりしているのではないかと心配している。そうい

ったことも含めて健康を守っていただくよう、できれば体制を万全にしてやってほしい。

健康課長：コールセンターは予約以外にも、接種券の発送スケジュールや保健センターで決まったことの情報提供をしているので、市民対応をしていただいている。キャンセル時もコールセンターに連絡が入るようになっている。

水野議員：64歳以下の3回目接種のスケジュールはいつ頃決まるか。

健康課長：6月に2回目接種を完了した64歳以下の方もいるので、高齢者分の発送が済み次第、準備して発送する。

木村議員：県の無料PCR等検査事業の周知は行っているか。また、利用者数やその内の陽性者数の把握等は保健所の管轄か。

健康課長：市内ではスギ薬局1箇所です抗原検査を実施している。店舗への問い合わせも多い中であつたが、市のホームページで周知したいこととお話しし、現在掲載している。件数等は把握していない。

(令和4年岩倉桜まつりについて)

商工農政課長：資料なし、口頭説明。商工会、実行委員会委員、関係各所との調整の結果、新型コロナウイルス感染症の状況やイベント開催におけるガイドライン等を考慮して中止することとなった。なお、昨年同様、一定の花見客が来ることは想定されるので、交通整理や清掃、グルメマップやホームページの整備等、対応していく。市民が少しでも明るい気持ちになれるような仕掛けを考えていきたい。

【質疑】

なし

(防火水槽簡易耐震化事業の中止について)

消防本部総務課長：資料なし、口頭説明。平成30年度から令和9年度にわたる20基の防火水槽簡易耐震化修繕を計画して、令和2年度までに合計6基の修繕を実施して消防力の強化を図ってきた。令和3年度も2基の防火水槽の簡易耐震化のために6月定例会において4,831千円の補正予算が可決されたが、平成30年度に修繕を行った防火水槽で水槽内に貼られているシートと躯体の間に大量の水が入り込む現象が確認されたため、簡易耐震化修繕を実施したすべての防火水槽を確認したところ、合計4基に程度の差はあるものの、同様の症状が見られ、本来の機能が保てないものとして原因調査をすることになった。現在、6基のうち2基のシ

ートを剥がし、製造業者による原因調査を行っているが令和3年中に原因の特定に至らず、今年度予定していた2基に着工できないことから、今年度の事業は中止する判断をした。火災時の防火水槽としては、躯体から水が漏れているものではないため、消防水利として問題なく使用できる。

【質疑】

水野議員：簡易耐震化修繕にミスがあった場合、施工業者でチェックできる場合とできない場合があると思うがどうか。

消防本部総務課長：原因は調査段階であり、究明できていないが、今回の不具合については職員が目視で確認できたものと、製造業者に立ち会って調査してもらって初めて確認できたものがある。

大野議員：近隣自治体でも同じ事態が起きているということはないか。

消防本部総務課長：近隣自治体で同様の事例はなかったが、訓練で使用した際にシートが剥がれたという話はあった。

(救急車の分散配備について)

消防本部総務課長：資料なし、口頭説明。昨年末、新規感染者が減少したため、11月30日をもって組織体制強化のために第3分団車庫への救急車分散配備を一時取りやめていたが、年明けから感染者が増加傾向であるため、感染対策として分散配備を1月12日から再開した。

【質疑】

なし

(岩倉市生涯学習センター運営協議会の廃止について)

生涯学習課長：資料なし、口頭説明。これまで岩倉市生涯学習センター運営協議会は年1回、市が同施設指定管理者の評価を行うにあたり利用者の立場から意見をいただき、適正な評価の参考としていた。一方で、生涯学習センターにある岩倉市生涯学習センター利用者会議が年3回実施され、同様に利用者の立場から管理運営について意見をいただき指定管理者の適正な管理運営に繋げている。このように二つの会議の役割が重複していることから、今年度から生涯学習センター利用者会議のほうに生涯学習課職員が出席することで、利用者の意見を集約して適正な評価に繋げることとし、生涯学習センター運営協議会は今年度をもって廃止する。

【質疑】

梶谷議員：生涯学習センター運営協議会の廃止を簡単に決め過ぎてはいないか。役割が重なる部分もあるだろうが、生涯学習センター運営協議会は公民館の運営協議会から、社会教育団体も含めた、大事な協議会ではなかったかと思うが、廃止に至るまでにどのような議論を経て判断したのか。

生涯学習課長：生涯学習センター運営協議会は事業評価書に意見をいただくこととしていたが、平成30年度から指定管理者評価等委員会が出来たことにより、市で統一的に評価することになったため、生涯学習センター運営協議会の利用者の意見を反映させる役割は利用者会議で担っていただくほうが適切と考えた。

堀議員：どの会議で議論されたのか。議事録は。

生涯学習課長：生涯学習センター運営協議会で協議したことはない。

梶谷議員：生涯学習センター運営協議会の委員の間では議論は尽くされたか。

生涯学習課長：協議会の委員にはまだ話していない。

梶谷議員：では、次の生涯学習センター運営協議会で報告という形式でお伝えするということか。

生涯学習課長：協議会委員の任期が3月末までで、会議は年に1回のため、会議を開催する機会はないのだが、廃止が正式に決定したら委員に個別にお話しする予定。

木村議員：手続きが乱暴ではないか。利用者会議の構成員や、利用者会議は議事録が残される会議か、また生涯学習センター運営協議会を廃止することは話し合われたのか。

生涯学習課長：運営協議会にはお伝えしていない。また、利用者会議に、市役所に生涯学習センター運営協議会というものがあり、廃止されるということもお伝えしていない。

(市制50周年記念事業 健幸都市宣言のまち いわくら市民健康マラソン～ONLINE～)

生涯学習課長：資料に基づき説明。

【質疑】

水野議員：チラシに記載された、参加費の支払い方法がよくわからない。

生涯学習課長：電子マネーとコンビニ支払いである。

大野議員：広報いわくらには詳しく記載されるか。

生涯学習課長：広報に詳しくは掲載されないが、アプリ内で示されると聞いている。

宮川議員：申し込みフォームに記載されているということ。

生涯学習課長：その通り。

(3) その他

なし

1 1 協議事項

なし

1 2 その他

なし